

研究の全体構造

学校の教育目標

豊かな心で協力し合える子ども
自ら学び創造し、深く考える子ども
何ごとにも進んでやりぬく強い子ども

令和5年度の教育重点目標

希望あふれる考える子 愛いっぱい明るい子

学校教育目標から研修を進めて考える目指す子ども像（四年次）

- ・豊かな心で協力し合える子ども（考えたことを表現できる子）
- ・自ら学び創造し深く考える子ども（課題解決の見通しをもち、自力解決できる子）
- ・何ごとにも進んでやりぬく強い子ども（自分の考えで活動できる子）

研究主題

『自ら考え、伝え合い、学び続ける子どもの育成』

～少人数での学びを深めるために～

研究仮説

- 個々に応じた算数的活動を通して、よりよい課題解決の方法を身に付けていくことにより、子どもたちは自分の考えや課題に見通しをもち、自力解決することができるだろう。
- 自分の考えや計算方法、図形などを見やすくノートに記録することにより、自分の考えを整理し、表現することができるだろう。
- 教師が渡りずらしを効果的に行うことや、間接指導時の取組を工夫することにより、児童の基礎・基本が定着し、主体的に学習することができるだろう。

研究の内容1

- ・算数的活動の指導
- ・見通しのもたせ方
- ・数学的思考方に則った授業のまとめ方

研究の内容2

- ・教具の使い方指導
- ・ノート指導
- ・発表、説明の指導
- ・「表現の幅を広げる」ICT機器の効果的な活用について

研究の内容3

- ・効果的な渡りずらし
- ・間接指導時の工夫
- ・「思考を助ける」ICT機器の効果的な活用について

支持的風土のある学級経営

基本的な生活習慣・学習習慣の定着

「確かな学力」を基盤とした生きる力